

寺報

No.689

令和7年1月

蓮華寺
發行

御聖訓

元三がんさんの内うちに十字めしもち九十まい枚、満月まんげつの
如ごとし、心中しんちゅうもあきらかに、生死しじょうの
やみもはれぬべし、あわれなり、
あわれなり。

『上野うえの殿どの御返事ごへんじ』



(解説)

これを書かれた弘安二年（一二七九）は、前年の十一月より身延山は豪雪に見舞われ、道もふさがれほとんど訪れる人がいなかった状態でした。

その、まだすがすがしい香気があふれる中の正月三日の日に、駿河（静岡）の信者であります上野殿からたくさんのお餅やお供物を戴く事が出来ました。

日蓮大聖人は、その時の上野殿のお志しが余程うれしかったようで、このお礼状を出したのでした。

山道も通りにくい状態なのに、このような品物をお届け戴いて、本当に有り難かつたらしく、文中に何度もあわれなり・あわれなり（有り難い）とお礼を申しています。

今の時代、この大聖人のような感謝の気持ちがうすれ、親子や人間関係にも亀裂が生じてきています。しかし、法華経・お題目を信ずる我々は、この感謝の気持ちを常に忘れず、持ち続ける事が必要なのです。

どうか今年も、しっかりとした信仰を基に、一年間頑張っていきましょう。

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。
令和七年の新春を迎えまして、今年も良い年でありま
すように、また皆様が無事平穩に過ごせますようにと
心から祈念致します。
しかし、現実はなかなか厳しい状況です。
政治の混乱、経済は不況状態から抜け出せず、また予
想し得ない感染症などの流行、地震や異常気象などの
天災、更に毎日のように起ります凶悪犯罪事件や事故
など、日々不安だらけの世の中であります。
これに付け加えて、親の子に対する虐待、子の親への
反抗、学校や職場でのイジメなどによる、引きこもり
自殺など、人間関係でも最悪な事が頻繁に起つていま
す。
では、今から八百年前の鎌倉時代はどうだったのだ
でしょうか。
それは現代とは比べものにならない程、もつと大変な
時代だったと思われます。
しかし、日蓮大聖人はこの世の苦しみを抱えたまま
我々があの世に行くのでは、絶対に苦しみから逃れる

事は出来ないのだから、決してこの世の中を諦めては
いけないのだと強く主張されました。
ですから、今我々に与えられている『命』を大切に、
そして、この『命』とは仏様の『命』に繋がるもので
すから、自分だけでなく他の人にも幸せになつてもら
えるようにと願い、しつかり生きて行くべきだと教え
られたのです。
つまり、人生とは一日一日の積み重ねであり、感謝の
日々であらねばならないと。
その為に日蓮大聖人ご自身は、数々のご法難を受けな
がらも、末法に生きる我々の為に『南無妙法蓮華經』
のお題目の有り難さを伝え、国と人民との平和を念願
したのです。
これが『立正安国』のみ教えなのです。
今、大変ながらも何とか我々が幸せに暮らせるのは、
この日蓮大聖人の不惜身命ふしやくしんみょうのご一生があつたからなの
です。
どうか皆様もお題目を心の支えとし、今年も日々感謝
の信仰生活をし、無事に一年を終える事を祈念致しま
しょう。

唱題行（寒修行）に

参加しましょう！

日蓮大聖人は伊豆流罪の時「法華經の明鏡に照らし
て、今の自分の身の上を考えると、過去に謗法（法華
經を非難する）の罪を犯した事は明らかである。
その重罪を今生こんじやうに償つぐなわなければ、未来に地獄の苦くるしみを免まぬ
れる事は出来ない。
しかし償う事によつて未来に仏になる事は大変喜ばし
い。」と申されました。
仏教では、今の自分の置かれていた状態は、過去世の
因縁から来るものであると説いています。
ですからこれが悪因縁ならば、自らが立ち切り、懺悔ざんげ
（反省）し、次世代まで絶対持ち越さないようにして
いかなければなりません。
日蓮大聖人は、それには『南無妙法蓮華經』のお題目
を唱えるしか解決方法はないといひます。
どうか皆様も、是非この教えを元に、お寺で一心に唱
題行をしましょう。
また、仏様や先祖の供養の為、そして各家の家内安全
や家族の身体健全を祈る事も大事でしょう。
（注）今年の大寒は二十日（月）になります。

次第

一月十七日（金）～二十三日（木）迄〔七日間〕
午後七時より一時間（小本堂）

- 礼拝文「謹みて礼拝し奉る」【4ページ】
- 開經偈「無上甚深微妙の」【6ページ】
- 讀經「如来寿量品第十六」【13ページ】
- 懺悔文「夫れ懺悔は治病の」【47ページ】
- 御妙判「祈禱鈔」【67ページ】
- 御題目「南無妙法蓮華經」【72ページ】
- 宝塔偈「此經難持の」【72ページ】
- 回向文「導師が唱えます」【76ページ】
- 四誓願「誓つて南無妙法」【77ページ】
- 三整唱「なむめう」【77ページ】
- 彈指合掌（祈りを込めます）

（注）全員イス席での修行となります。

持参品：聖典・数珠・団扇太鼓（所有の者）

日程

住職	十七日・二十日・二十三日
加藤上人	十八日
對馬上人	十九日
塙上人	二十一日・二十二日

節分会のお知らせ

二月二日（日）

午後六時開始

男性大厄	数え二十五歳	平成十三年生れ
	数え四十二歳	昭和五十九年生れ
女性大厄	数え十 九歳	平成十九年生れ
	数え三十三歳	平成五年生れ
年男・年女 （巳年）	昭和四年・十六年・二十八年 四十年・五十二年・六十四年生れ 平成元年・十三年・二十五年生れ 令和七年生れ	
その他	・前厄・後厄（厄年の前後） ・還暦（六十一歳）・古稀（七十歳） ・喜寿（七十七歳）・傘寿（八十歳） ・米寿（八十八歳）・卒寿（九十歳） ・白寿（九十九歳） ④いづれも数え年です。	

・今年ご祈祷希望者はどなたでも受けられます。

★厄払い・三千五百円
◎豆まき◎祈願読上げ
◎お加持◎厄札◎絵馬
◎福豆のお土産等

④本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着等、身に着ける物をご持参下さい。
★一般祈願・千円（◎節分札◎祈願読上げ）

追膳は元旦より八日まで お休みです

お正月は位牌堂・永代供養堂に上げます『追膳』がお休みとなりますので、各自『お供え餅』を上げるかまたお寺に注文し上げてもらって下さい。（五百円）
④お餅は数に限りがありますので、お早めに！

『提灯』の募集

「お正月」などで下げます『提灯』を募集します。
作成価格は八千円、年間の管理費が二千円です。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。
会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

各『会費』納入のお願い

檀信徒の皆様で、令和六年度の『護持会費』『位牌堂管理費』『トーロー代（提灯）』『聖徒団会費』等の納入がまだされていない方は、どうかご協力をお願い致します。

この中で『護持会費』は、全檀家の皆様に「日蓮宗々門」と宗教法人「蓮華寺」の護持運営の為にお願いしています。

また『位牌堂管理費』は位牌堂の電気・掃除等のメンテナンス代、『トーロー代』は大行事の際に下げます提灯の電気・修理費等、『聖徒団会費』は月初めの家内安全の祈願料と聖徒団の運営費として、いづれも加名者の方のみにお願いしています。

なお令和七年度分も、よろしくお願い致します。

④昭和二年に完成し、昭和二十年の青森大空襲にも耐えてきました蓮華寺『大本堂』、現在九十八年を経て青森で一番古い建物となりました。
どうか、皆様のお力で守り続けていきましよう。
その為には、皆様の護持会費が支えとなります。

『位牌壇』募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられています。

◎最近家庭の事情から、家族が仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を安置し、仏壇の代わりにお寺に参拝する方達も増えてきています。

◎家族が仕事の関係で、誰も地元に住めない為に、『位牌壇』に位牌を預かり、青森に帰省した時にお参りをする方も増えてきています。

◎仏様の命日に当る日に、旅行などで不在の時や高齢で家庭の追膳が作れない時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎一年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。（維持費は変わりません）三席から特席に上がる事も可能です。

蓮華寺 TEL七七六―五八四〇

教宣部からの御礼とお願い

部長 杉淵 昌三

現在、教宣部が主体となり、以前活動していましたが【伝道部】【奉仕部】の仕事も行っていきます。

皆様もご存知のように、お寺の行事は様々のお手伝いの必要があり、沢山の方々のご奉仕を戴きまして継続出来ています。

昨年度も「年中行事」の他に、春と秋のお彼岸また夏のお盆の「追膳」のお手伝い、更に「御会式の花作り」等の奉仕活動がありましたが、教宣部員と一般檀信徒の皆様のご協力により、無事終了する事が出来ました。

また伝道活動におきましても、檀信徒の皆様の為の修行として行われています、一月十六日～二十四日までの『寒修行』、更に四月～十一月までの月一回の『檀信徒研修会（お経と唱題行）』も無事成功の内に終わる事が出来ました。

その他「図書・カセットテープ・CD・DVD」等の貸し出しもしていますので、どうぞご利用下さい。

更に、昨年は部員の『喜寿を祝う会』もコロナ以来久

しぶりに行う事も出来ました。

どうか檀信徒の皆様の中で、菩提寺の為・先祖の為・自分自身のご信仰の為に活動したい方は、迷わず『教宣部』に入部して下さい。

また、部員でなくとも【蓮華寺】の為に協力戴ける方は、まずご遠慮なさらずにお手伝いをよろしくお願い致します。

どうか今年も頑張つて奉仕活動をしていきましょう。

教宣部員募集中

*詳細は事務所まで

『靈断』のすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】

十月の行事

一日(水) 元旦祝祷会

午前0時より

・年の始め、自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・お経は、聖典（お経本）を最初から順にゆつくり読みますので、皆様も一緒に唱えましょう。

・お正月の法要はこの時間のみですので、ご注意の上、お参り下さい。

①一月分の『盛運祈願会』は元旦には行いません。

☆この日は、当山開基「日持上人」のご命日ですので法要の中でご回向させて戴きます。

十三日(月) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一（日本語読み）

・如来寿量品第十六（漢字読み）

・皆様も、大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目と一緒に唱えましょう。

②『十三日のお勤め』のお経練習用の（CD・お経本）は事務所にてお求め下さい。

寒修行（唱題行）

一月十七日(金)～一月二十三日(木)

【七日間】

午後七時～午後八時迄

於…小本堂

☆奉仕のお知らせ

令和六年十二月

三十一日(火) 元旦祝祷会のお手伝い 午後十時より

【教宣部・男女共沢山】

*新しい年に向けての奉仕活動、ご参拝を兼ねながらよろしくお願い致します。

令和七年一月

三日(金) 元旦祝祷会の後片付け 午前十時より

【教宣部・男女共沢山】

*ちようちんや幕・幟などの後片付けです。

(注)部員以外でお手伝いの出来る方も、ぜひ当日時間までお集まり下さい。

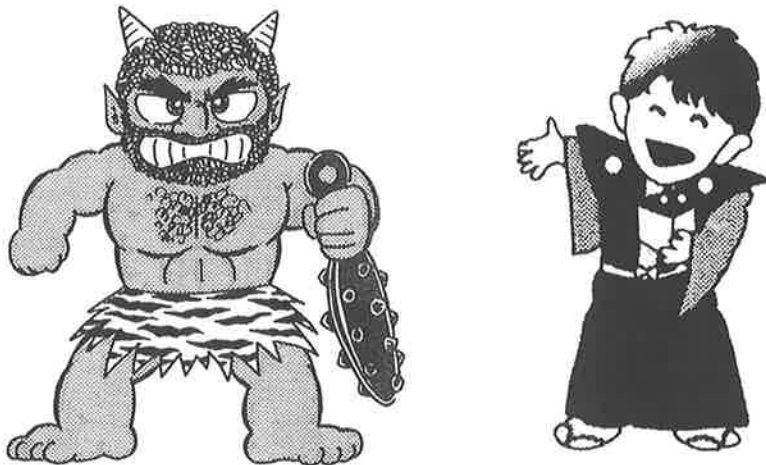
◎教宣部長・杉淵 昌三

せつ ぶん え 節 分 会

今年度は二日が節分です

二月二日(日)

午後六時より



(厄払い・豆まき・法楽加持・祈願あり)

* 厄払いと一般の祈願は一月十日より受付けます。

② 豆まきを行いますのは、^{としおとこ}年男・^{としおんな}年女 ^{みどし}(巳年)

^{やくどし}厄年・その他本年度ご祈祷希望者の方となります。